

授業科目		教育課程ナンバー		時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
災害看護技術演習		BNNSS8E17		30207	4後	1(30)	選択
担当教員	武田未央	実務歴	有	看護師として病院に7年勤務 保健師として行政機関に5年、NGO職員として海外で2年勤務			
担当教員	木下まゆみ						
概要	災害看護論で学んだ基本的な知識をもとに、実際の災害を想定したシミュレーション演習等を行い、災害時に求められる対応や看護について考えていく。看護の専門知識を統合し、各災害サイクルに求められる看護や、要配慮者への対応についても理解を深める。また実際に災害現場で活動した看護師の体験などを通して、被災者や支援者の思いに触れ看護の視野を広げる。						
学修目標	1)災害急性期に必要とされるトリアージや救急法、搬送などの看護技術を習得できる。 2)実際の災害をイメージし、様々な情報のもと被災状況のアセスメントを行い、災害時に必要な行動や看護をシミュレーションできる。 3)災害時要配慮者、避難行動要支援者について理解を深め、災害特性に応じた看護を説明できる。 4)被災者・救援者のストレスとこころのケアについて説明ができる。						
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力		
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎	
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	◎	
回	学修内容			予習・復習内容			
1	演習オリエンテーション、演習の進め方			災害看護論の学修内容をまとめ復習しておく			
2	災害看護の展開:被災状況のアセスメント(災害発生直後)			テキストp192~201 災害発生直後からの情報収集、アセスメントができる			
3	災害看護シミュレーション①急性期			テキストp101~105 講義前に読んでおく 被災病院における初動体制(机上シミュレーション)			
4	災害看護シミュレーション①急性期			被災病院における発災直後の看護師の役割について理解する、CSCATTTの原則			
5	災害看護の展開:被災状況のアセスメント(災害発生から2週間)			前期避難所における健康と生活支援を復習する テキストp214~220講義前後に読む			
6	避難所シミュレーション②:亜急性期			避難所における看護について理解する			
7	災害急性期に必要とされる看護技術①応急処置、包帯法			前期災害時多い健康障害の復習をしてくる テキストp352~付録			
8	災害急性期に必要とされる看護技術②搬送法			テキストp362~			
9	災害急性期における看護活動:DMATの活動(ゲストスピーカー予定)			テキストp40~ 前期災害医療体制の復習、配布資料 DMATの活動について調べてくる			
10	災害急性期に必要とされる看護技術①トリアージ			災害時の3T(トリアージについて)			
11	災害発生現場を想定した救援活動: 模擬傷病者に対するトリアージ			前期トリアージの講義を復習してくる テキストp39~			
12	災害発生現場を想定した救援活動: 模擬傷病者に対する応急処置			テキストp204~ 救護所の開設 講義前に読んでおくこと			
13	災害とこころのケア:DMORTの活動(ゲストスピーカー予定)			災害時のこころのケアを復習してくる DMORTの活動について事前に調べてくる			
14	災害時における看護倫理			事前に提示の予定			

15	まとめ	課題の作成、まとめ
使用 テキスト	浦田喜久子・小原真理子(2018)『系統的看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学』医学書院	
参考図書	①酒井明子ほか(2014)看護テキストNice 災害看護テキスト改訂第2版 南江堂 ②南裕子ほか(2012)災害看護学習テキスト 実践編 日本看護協会出版社	
成績評価 基準	演習・グループワークへの参加状況、提示した課題30%、課題レポート70%	